



## 高校物理補講の取り組み

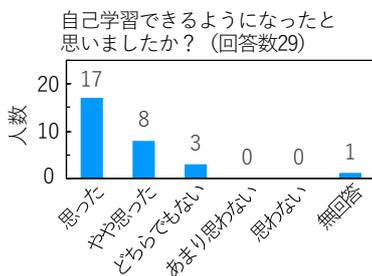
ラーニングサポート室ではリメディアル教育の一環として、10月に高校物理未履修者向けの物理学補講を開催し、39名の方が参加しました。この「高校物理補講」は今回で4回目となり、最初の開催から1年が経ちました。補講では1学期に「力学」、2学期に「熱力学」と「電磁気学」を中心に1週間で高校教科書を復習しています。高校では「物理」は選択科目となっていますので、本学には未履修の学生が多く在籍しています。そのため、正課授業を担当される先生方には、適宜高校物理の内容を交えながら、難易度を調整して対応していただいています。並行して当室では、高校物理を復習する補講を設けることで、学生さんの学習をサポートしつつ先生方の負担を少しでも減らし、大学教育の質が維持されるように取り組んでいます。

これまでと同様に今回の補講でも参加者の多くが生物重点および総合科学で受験した学生さんで、全体の約70%になりました。次に、水産学部、化学重点、農学部、総合文系の学生さんと続き、初めて留学生も参加しました。短期間で多くの内容を

詰め込んだ補講でしたが、補講後のアンケートでは、内容量や難易度について「ちょうど良い」との回答が最も多く寄せられました。さらに、当該補講が「役に立った」あるいは「少し役に立った」と全員が回答しており大変好評でした。一方で、受講者の多くは高校1年次で学ぶ「物理基礎」を最後に、物理学の学習において2年以上の空白期間を持っていることも分かりました。当該補講では、このような受講者と履修者との学力差を少しでも是正すると同時に、受講者自身で勉強していけることを目標としています。アンケートで自身で勉強できるようになったと思うかとの問いに、29名の回答者のうち25名から「思った」または「やや思った」との回答が得られました(左下参照)。今後は自ら実践していけるようにサポートしてまいります。

これまでの補講では受講者数を制限していましたが、回を重ねていく度に参加希望者が増え、一部の学生から全員参加を求めるメッセージが寄せられました。これを受け、受講希望者全員が参加できる受け入れ体制を整え、改善を図ってまいりました。また、補講時間の延長を望む声が多く、補講の拡大ができないか検討しています。

今後もできる限り学生さんの要望に応えながら、講義を担当される先生方の負担軽減に繋がるよう努めてまいります。物理教育や学習サポートに関してご要望などございましたら、裏面にあります当室の連絡先まで気軽にお問い合わせください。(秋山 永治)



## スタッフの心象 第23回「学習のための本を探そう」

このコーナーではLSOに寄せられる進路・修学・学習相談の内容を元に、相談現場の様子をお伝えします。

2学期も折り返しに差し掛かりました。1年生の皆さんは北大の生活に慣れつつある一方、大学生生活特有の悩みを感じている人も多いかもかもしれません。その悩みは様々ですが、やはり勉強に関するものが多く聞かれます。学習サポートにおいて寄せられる悩みの多くは「課題・問題が分からない」「レポートの書き方を教えて欲しい」という、どちらかというと目の前の悩みに関するものです。勿論、こうした目の前の悩みを解決することは大切ですが、2年次以降の将来を見据えると、自分自身で勉強法を模索していくことも大変重要です。その勉強法の模索の為に、学習サポートを活用するという方法もあります。

勉強法を模索する第一歩は、学習の為の本探しです。大学の授業では、授業用テキストは指定されてはいるものの、高校の授業とは異なり、その一歩先の理解が求められる場合もあります。そうした場合、自分自身の力で勉強・調査せねばならず、そこで本探しが必要となるわけです。

ラーニングサポート室では学習サポートを通じて、学習の為の本の紹介・アドバイスも行っています。毎年、入学直後の4月には、高校物理を未履修だった理系学生さんや他系移行を目指す学生さんが、学習の為の本に関するアドバイスを求めてやってきますが、本当に重要なのは2年生以降の学部の勉強を見据えた本探しです。現に私が担当している化学や自然科学実験(化学・生物)の学習サポートでは「もっと詳しく知りたい」「理解度のチェックをしたい」という理由で、学習書籍や学習ツール(分子模型など)を求めてやってくる学生さんが見られます。

何と言っても自分自身で探した本は、皆さんにとっても一生ものの本になることだってあります。皆さんも「自分だけの本」をもとめて、ラーニングサポート室に来られてみてはいかがでしょうか。(城谷 大)



## ☆ラーサポ ベストラーナーシリーズ☆

ラーサポを何度も利用し、かつ優秀な成績を修めた学生を“ラーサポ ベストラーナー”と称し、勉強への取り組み方や進路決定にまつわる紆余曲折などを綴って頂きます。

今回のベストラーナーは、学習サポートを最も活用された学生の1人で、入学当初から入念な計画を立てて勉強を行い、希望の学部学科へ移行を果たした小川日咲乃さんです。

### 先生と話してみよう

水産学部海洋生物科学科2年 小川日咲乃

こんにちは。水産学部海洋生物科学科2年の小川日咲乃と言います。今回は私が北大で学生生活を送ってきた中で、大切に感じたことを紹介したいと思います。少しでもこの記事が皆さんの学業の参考になれば幸いです。

私が北大で過ごしてきて大切に感じたことは「先生と話してみる」ということです。この点について3つの視点からお伝えしたいと思います。1つ目は勉強面から「先生と話してみる」です。どれほど授業を真剣に受けていたとしても、授業の内容が分からないことはあると思います。そこで1年生の頃は授業の終了後に授業で分からないことを必ず先生に質問するようにしました。授業後に先生に質問をする形で「話してみる」と正しい理解を最も短時間で身につけられる利点があります。

とはいうものの、中には先生に質問することは気が引けると思う人もいるのではないのでしょうか。でも、そう感じる人もぜひ先生に質問をしてみてください。自分ではこのような質問をして良いのだろうかと心配する内容でも、先生方は親切に教えてください。実際、授業メモをとって、説明を聞き逃してしまった部分を先生に聞きに行くことがありますが、その際も先生方が丁寧に教えてくださいました。今まで質問なんてしたことないなあという方こそぜひ先生に質問に行くことをお勧めします。

2つ目は不安の解消という面から「先生と話してみる」です。私は学部別入試

で水産学部に入りました。進級する学部は決定していましたが、学科分属については1年次の年度末に成績に応じて算出される移行点で決まるものでした。そのため、1年生の頃は自分の行きたい学科に行けるかずっと不安でした。そのように感じていた時に、授業終わりに質問に行くと先生方から「授業をよく聞いているね」と褒めていただけることができました。自分が成績について大きな不安を抱えているときに、このような先生方からの一言は努力を認めてもらえるように感じ、不安な気持ちが和らぎました。

また1年次の2学期の履修科目について水産学部の先生にご相談をしたことがありました。その先生と偶然学内で出会った際に、「履修は順調に進んでいますか」と声をかけていただいたことがありました。不安を抱えている時には自分一人のような感覚があったのですが、このように先生から声を掛けていただくことで自分のことを見てくれる人がいると感じ、不安が和らいでやる気が出ました。成績について不安を抱えている時には誰かと話すことや、自分の努力を認めてもらえることがあると、その不安が和らぐことがあると思います。「先生と話してみる」ことは実際的なアドバイスが得られるだけでなく、励ましの言葉を頂けるので心の負担の軽減に繋がります。

最後の3つ目は進路や今後の計画の面から「先生と話してみる」です。私は学部別入試で入学された方にもぜひ



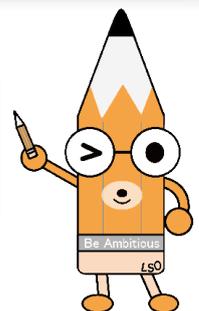
学部・学科等紹介の説明会に積極的に参加して、先生方と話してみる機会にしてほしいと思います。1年生の頃、私は2学期の選択科目について悩んでいましたが、この説明会の時に先生から進級先で1年次に勉強しておく役に立つ選択科目についてアドバイスをもらうことができました。私はその時に推奨された統計学を選択し、2年次の統計学を用いた授業に役立たせることができました。さらに、これは2年生になってからの経験になりますが、授業内容について質問に行った際に思いがけず研究室についての情報を先生から教えていただけたこともありました。それまでは水産学部の大学院しか進路がないと思っていたことが、先生から研究内容や研究室を詳しく説明いただいたことで、他学部の大学院への進路もあることが分かり、他の選択肢についても知ることができました。進路については思いがけないところに情報があると感じ、特に学部や大学院に関する情報収集のきっかけとして先生と話すことは大変有効だと実感しました。ぜひ実践してみてください。

最後になりますが、1年生の皆さんに私の経験談が少しでも役に立てば幸いです。ご精読有難うございました。

### 編集後記

今年も残り僅かとなりました。高年次の学生さんは単位の取得や学位論文の執筆等に励んでいる頃だと思います。一方で、移行や分属を控えた1年次の学生さんは進路を考えながら勉強に精を出していることでしょうか。LSOでは学習サポートだけでなく進路相談も受け付けています。3月には志望調査が行われますので、進路で困られている方は早めにLSOにお越しください。

(秋山 永治)



### ラーニングサポート室

〒060-0817 札幌市北区北17条西8丁目 電話:011-706-7526 E-mail:lso@high.hokudai.ac.jp  
北海道大学高等教育推進機構2階 URL:https://lso.high.hokudai.ac.jp/

次号は来年3月発行予定です